

140 オウギウロコガイ

(ウロコガイ科)

兵庫県ランク:A

Galeommella utinomii

環境省ランク:CR+EN

種の概要

東京湾から九州に分布。内湾の干潟から潮下帯の砂泥底に生息する。殻長10mm程度。殻は薄く、白色半透明で多少膨らむ。殻頂は前傾してほぼ中央に位置し、殻頂から放射肋があり、腹縁は肋に応じて刻まれる。軟体部は白色の外套膜と多数の鮮やかな橙赤色の突起が特徴的。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

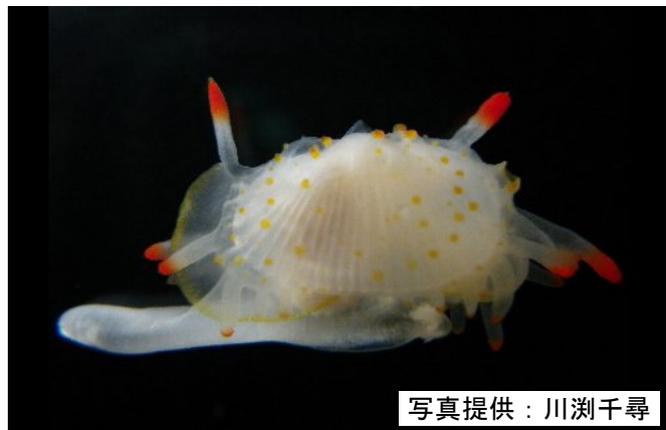
洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

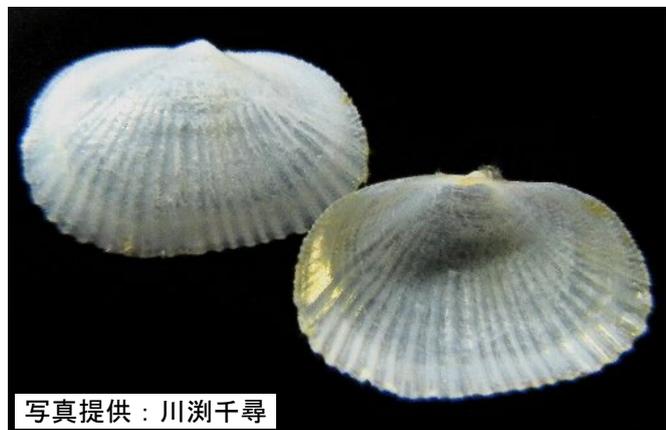
新規追加種。近年、淡路島中部の内湾に面した数箇所で見つかり確認されている。礫干潟の浅いタイドプールや河口付近の礫地の転石裏、内湾最奥部の海藻に被われた泥底に生息しているが、生息数は非常に少ない。また礫地の転石裏では、同じ石にオウギウロコガイ2個体のほか、ツヤマメアゲマキガイ(貝類Aランク)2個体、アラウズマキ2個体がともに見られた。

保護上の留意点

比較的潮通しの良い内湾の礫の多い底床が砂泥干潟で、底床に浮き礫や半ば埋もれた礫岩が必要である。河口や内湾は護岸や埋め立てが頻繁に行われる場所であり、干潟環境を消失させないように配慮する。



写真提供：川渕千尋



写真提供：川渕千尋

【執筆者】 川渕千尋